



第70回前島密賞 受賞者決定について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

本日15時に公益財団法人通信文化協会が報道資料「第70回前島密賞 受賞者決定について」を総務省記者クラブならびに日本郵政株式会社記者クラブに配布しております。

ケーブルテレビ業界では、以下の方が受賞の荣誉に浴しましたのでお知らせいたします。

前島密賞： 松本 正幸 氏
元 株式会社ジェイコムウエスト 代表取締役社長
元 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 副理事長兼専務理事

■前島密賞について

通信事業の創始者「前島密」の功績を記念し、その精神を伝承発展せしめるため、1955年に設けられ、情報通信および放送の進歩発展に著しい功績のあった方々に贈られます。

■ご参考

公益財団法人通信文化協会の報道資料(抜粋)を添付しております。

敬具

■本件に関するお問合せは下記までお願いいたします
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 <<https://www.catv-jcta.jp>>
担当：地平(じひら)・田所
TEL：03-3566-8200 FAX：03-3566-8201

報道資料

第70回前島密賞 受賞者決定について

公益財団法人通信文化協会では、第70回（令和6年度）の前島密賞の受賞者を別紙のとおり決定しました。贈呈式は、4月10日（木）に行います。

記

1 前島密賞の趣旨等

前島密賞は、逓信事業の創始者「前島密」の功績を記念し、その精神を伝承発展せしめるため昭和30年（1955年）に設けられたもので、以降毎年度、情報通信事業（郵政事業を含む）及び放送事業の進歩発展に著しい功績のあった者に贈呈しています。

また、第66回より、新たに「奨励賞」を創設し、情報通信・放送分野において活躍し、今後もなお一層の功績が期待される者に贈呈しています。

情報通信・放送は、社会経済活動や日常生活はもとより非常災害時においても欠かすことのできない重要なインフラであり、コミュニケーションツールです。通信の役割が益々重要になってきており、大量の情報が取り扱われています。一方、セキュリティ対策も大きな課題となっているところです。

このような状況の中、今回は、通信サービスの提供の維持・発展、情報通信技術と脳機能科学の融合研究、情報通信インフラを支える通信システムの高速度・大容量化や次世代放送の実現に向けた技術開発のほか、「情報から誰一人取り残されない社会」の実現に向けた取り組みなど、時代の要請にかなった功績となっております。

通信文化協会は、引き続き通信・放送文化の発展のために取り組んでまいります。

2 受賞者の概要

(1) 前島密賞

16件 28名 2団体

- ① 情報通信・放送分野において、長年に亘り多大な功績のあった者、先駆的な研究開発を行った者など。
- ② 通信・放送の提供や維持に貢献があった者、地域のインフラとして地域貢献に資する功績があった者など。

なお、副賞として、元日展理事、日本芸術院賞・恩賜賞受賞 高橋剛氏作のメダル（ただし、共同研究・共同行為・団体による受賞者は金一封）を贈呈します。

(2) 奨励賞

4件 5名

- ① 若手経営者として活躍している者、現場の第一線で活躍している者。
- ② 先駆的な研究開発を行った者。

なお、副賞として、前島密賞のメダルの意匠を入れた楯を贈呈します。

3 選考要領

毎年、当該年度の実施要領に示す推薦機関から受賞候補者の推薦を受け、選考委員会の議を経て理事会で決定します。

4 贈呈式

- (1) 日時
令和7年4月10日(木) 午前11時00分
- (2) 場所
KKRホテル東京
(千代田区大手町1-4-1)

5 協会の定款及び前島密賞規程

- 公益財団法人通信文化協会 定款 第3条
本法人は、郵政博物館の運営、前島密賞の贈呈、通信文化の普及・発展等に関する事業を行い、もって我が国の手紙等文字コミュニケーション文化と情報通信・放送文化の向上に寄与することを目的とする。

- 前島密賞規程(抄)
第2条 前条の賞は、前島密賞及び奨励賞とし、それぞれ次の各項に該当する者に贈る。
 - 2 前島密賞
情報通信・放送に関わる次の各号ごとに、特段の功績があったと認められる者。
 - (1) 情報通信ネットワークの提供及びユニバーサルサービスの維持のために顕著な功績があった者
 - (2) ICT(情報通信テクノロジー)に係わるイノベーションを発案し、ネットワーク社会の進歩発展に顕著な功績があった者
 - (3) ネットワーク社会の進歩発展又はコミュニケーション文化の振興・発展に関し、顕著な功績があった者
 - 3 奨励賞
情報通信・放送分野において、現に活躍するとともに実績を上げており、今後もなお一層の功績が期待される者。

[連絡先]	公益財団法人通信文化協会 前島密賞事務局 小林 〒113-8139 東京都文京区湯島 4-5-16 TEL : 03-5809-7148
-------	--

3 第70回(令和6年度)前島密賞受賞者功績

(敬称略、所属・職歴は推薦時)

10 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟推薦

[個人：功績1号]

松本 正幸	元(株)ゾエコムエイト 代表取締役社長 元(一社)日本ケーブルテレビ連盟 専務理事 ・2017年(一社)日本ケーブルテレビ連盟・(一社)日本CATV技術協会 「第29回ケーブルテレビ功労者表彰」 他1件
<p>【ケーブルテレビ事業の拡大を通じ、業界振興と放送のデジタル化推進に貢献】</p> <p>1969年、松下電器産業(株)に入社以降、ビデオ事業部長等の要職を担った後、(株)ゾエコムエイト代表取締役社長に至るまで、一貫して関西におけるケーブルテレビ業界の発展に貢献し、日本ケーブルテレビ連盟専務理事等在任中は、ケーブルテレビ業界の発展と放送のデジタル化の推進に多大に貢献した。</p>	

1969年、松下電器産業(株)に入社以降、技術職として実績を重ね、ビデオ事業部長として、ビデオ製品の普及拡大に努め、ビデオ事業の発展に功績を上げた。

2002年、大阪セントラルケーブルネットワーク(株)代表取締役社長に就任時は、ケーブルインターネットの草創期であり、そのリーダーシップにより、関西一円の業界各社の中心的存在として活躍。2003年の地上デジタル放送開始にあたっては、機器メーカー、地上波放送事業者、関係する諸団体を巻き込んだ普及活動に取り組み、放送開始初期の認知向上・視聴者数拡大に大きく貢献した。

(株)ゾエコムエイト代表取締役社長に就任時は、厳しい競争環境の中、地域密着とお客様目線のサービス開発を貫き、確かな顧客基盤を確立し、会社業績を成長に導いた。また、2011年のアナログ地上波の停波を控え、デジタル化策を積極的に推進。2010年9月には全加入者のデジタル化を完了する等、関西におけるデジタル化推進に大きく貢献した。

また、2007年、(一社)日本ケーブルテレビ連盟の理事・近畿支部長、連盟法制度委員会委員長、コンプライアンス委員会委員長の要職を歴任し、消費者保護に関する業界ガイドラインを策定するなど、業界における法令遵守、消費者保護に関する意識の底上げに大きく貢献した。近畿支部長、両委員会委員長としての2年の任期を終えた2009年には副理事長に推挙され、その卓越した知見と経験を基に業界を牽引した。

さらに、連盟専務理事在任時は、連盟活動の運営を担い、区域外再送信問題、民放地上波再放送の著作権問題、地上デジタル放送への完全移行(2015年のデジタル変換終了)等の諸問題を解決に導いた。